

原子力災害医療における放射線防護と計測 2018 in 東海

主催 公益社団法人 日本放射線技術学会 中部支部 放射線防護研究会
世話人 小林正尚・伊藤祐介 (東海), 上野博之・嶋田真人・能登公也 (北陸)

近年、自然災害が各都道府県に猛威を奮っています。この東海地域は、南海トラフ地震の発生確率が70～80%/30年と上方修正があったことから災害医療へ備える必要性が高くなっています。特に原子力発電所が稼働している県やその近隣県においては、原子力災害医療時の汚染確認・除染作業などの対応に診療放射線技師の高い専門性が期待されています。**本講習では、原子力災害時に必要とされる計測・防護の知識と診療放射線技師に求められる役割について学びます。**

プログラム

■ 第一部 (13:30 ~ 14:45)

「原発事故から学ぶ甲状腺測定的重要性と問題点」

－簡易測定の実践を学ぼう－

講師 セントメディカル・アソシエイツ 広藤 喜章 先生

■ 第二部 (15:00 ~ 15:45)

「サーベイメータの測定原理と使い方」

講師 日立製作所 尾崎 則仁 先生

■ 第三部 (16:00 ~ 17:00)

「原子力災害サーベイ(セグメント法)の実習」

日時 2018年12月16日(日)

時間 13時受付開始

会場 藤田医科大学 医療科学部5号館 411講義室
愛知県豊明市沓掛町田楽ヶ窪1-98

参加費 会員・学生:無料/非会員:500円

定員 20名(先着順)

申込先 masa1121@fujita-hu.ac.jp
小林正尚(Masanao Kobayashi)

医療科学部5号館

正門



注意：駐車場は来院者用(有料)のみしかありません。